

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	REVOLT UPRISING LE	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：REVOLT UPRISING LE

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

比較対照ボール：TRIDENT ODYSSEY

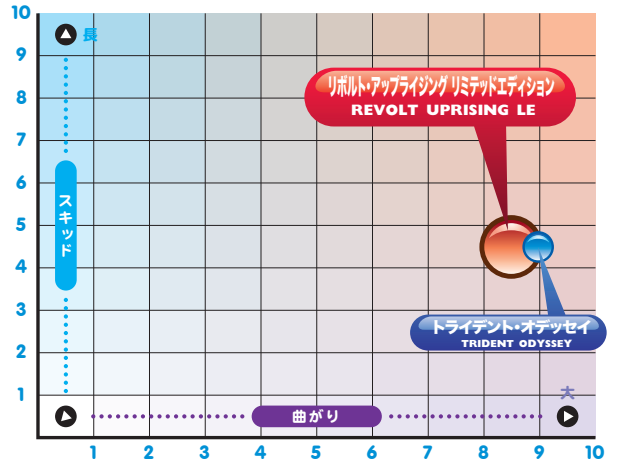
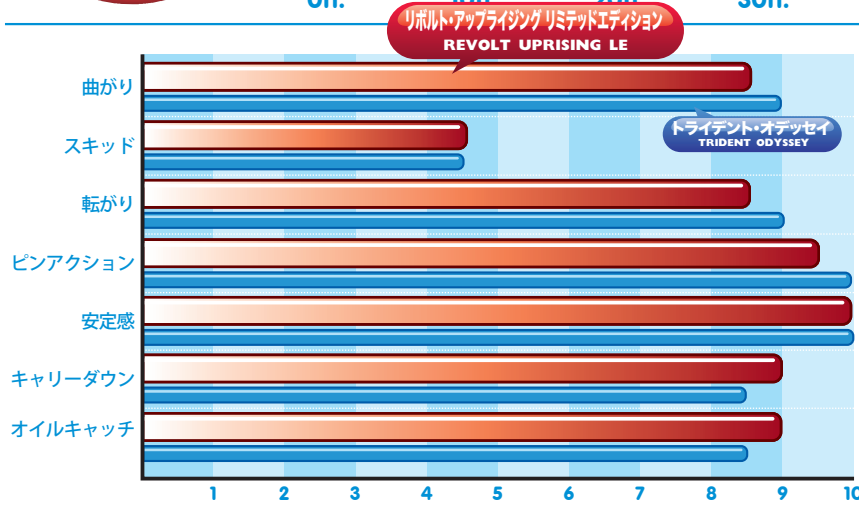
フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

ボールの評価

久々のリポルト復活。ABSが最後にリポルトを取り扱ったのは2019年12月のリポルト 2020です。モチーフが最後にカタログボールとして発売したのが2017年3月のユナイテッド リポルトですので、日本の市場にリポルトが出るのは2年半ぶりになります。リポルトの代表作は言わずと知れたカバート リポルトで、爆発的な人気を誇ったボールです。コンティニユアス(持続的)な回転から生まれるアーク上のリアクションで抜群のコントロール性能を誇り、しかも無類のピンキャリアが多くのボウラーのハートをガッチリつかんだ仕上がりでした。そのリポルトの最新作が世界限定個数で販売されます。日本に割り当てられた個数はほんの数量でももちろん再販もありません。スペックはリポルト ハボックと同じヘリックス カバーストックをベースにMXC (MaXimum Continuation)仕様(フォージ フレアやジャッカル レガシー)と同じ最新のレーンオイルとより大量のパターンを処理するための新しいテクノロジーで作られています。海外のテスターがパーフェクトゲームを達成するなど、SNS上ではすでにリポルトらしい動きで賑わっています。カバーストックと表面加工からフレッシュなコンディションで非常に安定した軌道になり、コントロール性能は抜群です。ヴァンキッシュ コアの特性による大きなトラックフレアも懐かしく、このコアなくしてリポルトを語ることはできません。ジャッカルやベノムは最新のアップデートがありますが、リポルトは発売される予定が聞こえてこなかったため、再びリポルトを投げられる喜びを感じているのは私だけではないと思います。これでまたボールバッグの中にリポルトとジャッカルが入り、ベノムとタンクが揃えば盤石のリレーとなるでしょう。

特記事項

世界限定個数での発売で、日本に割り当てられた個数はわずかです。いつものようにショップの店頭に並ぶことはない可能性が高くなりますので、ご用命の方はお早めにオーダーしてください。